

平成 31 年度事業報告書概要版

(社会福祉法人静岡市しみず社会福祉事業団)

1 事務局：昭和 57 年 4 月設立

1 主たる事業

本年度も市より各施設に係る管理業務を受託し、障害者総合支援法に基づく法定施設及び受託施設の円滑な運営を図るとともに、経理、出納、物品の取扱い等の各種事務、財産の維持保全、予算、決算事務を行った。

また、指定管理事業者として利用者の視点に立ち、長年培ってきた支援技術と福祉サービスの充実を図るとともに、経営の健全化と安定化を図った。

2 理事会、評議員会の開催状況

会議名	開催回数	延出席人数	主な審議事項
理事会	3回	22人	・平成 30 年度事業報告及び各種会計収支決算の認定 ・役員の選任 ・施設管理に係る協定の締結 ・平成 31 年度各種会計収支補正予算 ・令和 2 年度事業計画及び各種会計収支予算
評議員会	2回	12人	・事務局長、施設長の任命 ・報告事項 苦情解決結果状況報告 理事長専決事項報告等

3 監事監査(定期監査・期中監査)

令和元年 5 月 30 日、平成 30 年度関係の決算書類及び付属関係書類、関係諸帳簿との照合、係数検査等の定期監査を。令和元年 12 月 10 日、平成 31 年度前期分各種計算書類等の確認、業務状況報告等の期中監査を受け、いずれも適正、かつ正確に行われているとの報告を受けた。

4 第三者委員への苦情・要望内容の報告会

令和元年 5 月 30 日、各施設に寄せられた苦情・要望内容 38 件について第三者委員 2 人に報告した。個々の苦情解決並びに直接、施設運営適正化委員が受け付けた案件はなかった。

5 職員配置状況

常勤職員 41 人、非常勤職員等 28 人の計 69 人を各施設にそれぞれ配置して業務を滞りなく遂行した。

6 職員研修

内部講師による階層別研修を計画的に実施したほか、虐待防止や交通安全に関する全体研修、専門研修、視察研修等に積極的に参加し、資質の向上に努めた。

7 防災訓練

年 3 回、事業団全施設を対象に、地震による火災発生を想定した初期消火訓練や避難誘導訓練、津波避難訓練等の総合防災訓練を実施した。

また、平成 28 年度から実施している大規模な災害を想定した宿泊を伴う防災訓練には、事業団利用者、職員並びに関係機関職員の方、99 人が参加した。

8 地域における公益的な取組み

社会福祉法人は、地域住民が抱える多様なニーズに対応するために、既存の制度では対応が困難な地域ニーズを把握し、積極的に対応していくことが求められることから、駒越地域においてこどもの居場所づくりとして「わいわい広場」を平成31年度から開始し、延べ94人が参加した。また、地域の3公園の清掃活動を毎月実施した。



わいわい広場・ゲーム



わいわい広場・昼食

2 静岡市清水みなとふれあいセンター（身体障害者福祉センター）[昭和57年4月開設]

在宅障害者を対象に機能訓練や創作的活動を行った他、障害者団体が実施する事業の運営協力、広報紙等の啓発活動、地域福祉活動、静岡市委託事業の手話奉仕員養成講座、移動支援従事者養成研修、要約筆記者養成講座の開催、施設提供等、各種事業を実施した。

1 機能訓練及び創作的活動内訳

事業	内容	実施延回数	参加人員
機能訓練 社会参加促進	書道・ペン習字・陶芸等 計6教室	68回	829人
体力増進	卓球・ボッチャ・水中運動・グ ラウンドゴルフ等 計9教室	114回	1,373人
合計		182回	2,202人

2 委託事業内訳

事業	内容		実施回数	参加人員	参加延人員
手話奉仕員 養成講座	清水区 [昼の部]		46回	22人	681人
	葵・駿河区 [夜の部]		46回	30人	910人
移動支援従事者 養成研修	第1回	城東福祉エリア	3日間	25人	50人
	第2回	城東福祉エリア	3日間	17人	34人
要約筆記者 養成講座	手書きコース (中央福祉センター)		12回	3人	34人
合計			110回	97人	1,709人

3 施設利用等内訳

区 分	件数
会議室	11 件
運動広場	85 件
多目的ホール	11 件
合 計	107 件



水中歩行



エンジョイスports



陶芸

3 静岡市清水ひびきワーク(生活介護事業所・定員：20名) [昭和57年4月開設]

利用者が望む生活の実現を支援するための個別支援計画を作成し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後の受入れ、個別支援計画に基づいた支援の対応を行う等、概ね計画どおり進めることができた。

1 利用者の状況(平成31年度末利用契約人員：17人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
66 歳	36 歳	48.6 歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
17.9 年	22.8 年	20.4 年

(3) 身体障害者手帳調べ

等級	1	2	3	4	5	6	計
人数	10 人	3 人	2 人	0 人	1 人	0 人	16 人

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0 人	0 人	4 人	4 人	7 人	2 人	17 人	4.4

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	0人



作業の様子

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
267日	3,031人

2 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
外岡作業所	箱折(ケーキトレイ、菓子の箱折り、ひも通し)
蒔田紙器(株)	ダンボール型抜き、組み(薬品梱包用)
安藤紙業(株)	分別作業

(2) 収入状況

年度別	平成 31 年度	平成 30 年度	増減
収入金額	888,468 円	729,425 円	159,043 円

(3) 工賃支給状況 (月額)

最高	最低	平均
23,520 円	450 円	3,517 円



選択活動・ボッチャ

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
生活支援	月 1 回程度	11 回
選択活動、外出活動 (ボウリング・ランチタイム・JR利用等)	随時	14 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
バスハイク(小柳津清一商店)	10 月	2 回
スポーツ体験 (県障害者スポーツ協会指導)	12 月	1 回
新春もちつき大会	1 月	1 回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習、市民ボランティアを積極的に受け入れた。

4 静岡市清水うみのこセンター(母子療育訓練センター)[昭和57年4月開設]

発達が気になる乳幼児の早期発見、早期療育を目的に、療育相談や指導、生活自立への支援等を行うとともに、一人ひとりの状況に応じた発達支援、子育て支援に努めたほか、ビデオを用いたペアレントトレーニングの定期的な開催、心理職スタッフによる発達相談など概ね計画どおり進めることができた。

また、保健センター主催の遊びの教室他、早期発達支援の場である「ぱすてるひろば」に定期的に職員を派遣し、スムーズに療育につなげるよう努めた。

1 登録者実人員 197人

2 利用状況内訳

区分	訓練	交流保育	特別指導	訪問指導	相談業務	計
延人数	2,566人	119人	53人	189人	2,215人	5,142人

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
特別支援学校・特別支援学級見学	6月	15回
年長児母親教室 その他の母親教室	随時	10回
親の会(シンデレラクラブ)	随時	5回
父親参加会	11月・2月	2回
新春もちつき大会	1月	1回

この他、区内指定こども園への交流保育(毎週水曜日)や小児神経内科医師、臨床発達心理士による特別指導(年11回)、臨床発達心理士による療育相談会(年28回)、清水、蒲原保健センター主催のフォローアップの会(年間22回)、親の会主催行事(歓送迎会、夏のふれあい交流会)への協力、ペアレントトレーニング(4回)を実施したほか、今年度初の試みとして、地域のお店に行き実際にお金のやり取りをしながら買い物をする生活体験を行った。



サーキットトレーニング



読み聞かせ



生活体験・買い物

5 静岡市清水うしおワーク（多機能型事業所・定員：50名）[昭和58年4月開設]

定員30名の生活介護事業と定員20名の就労継続支援B型事業の多機能型事業所として事業を行った。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延1,228人を受入れ、個別支援計画に基づいた支援の対応を行う等、概ね計画どおり進めることができた。

1 生活介護事業(定員30名)

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、創作的活動や生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

1 利用者の状況(平成31年度末利用契約人員：33人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
70歳	26歳	46.2歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
20.2年	24.4年	20.9年

(3) 療育手帳調べ(単位：人)

区分 性別	A	B	計
男	24	3	27
女	5	1	6
計	29	4	33

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0人	0人	3人	19人	10人	1人	33人	4.2

(5) 入退所状況

入所	退所
2人	1人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
267日	7,695人

2 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
ベイプレス	チラシ配り
(有)鈴恵工業	プラスチック製品の袋詰め
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み

(2) 収入状況

年度別	平成 31 年度	平成 30 年度	増減
収入金額	2,265,274 円	2,615,472 円	△350,198 円

(3) 工賃支給状況 (月額)

最高	最低	平均
7,444 円	694 円	3,555 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
レク活動 (ボウリング・カラオケ等)	随時	23 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	5 月	1 回
バスハイク(明治製菓工場)	7 月	1 回
一泊旅行(山梨方面)	10 月	1 回
オレンジマラソン大会	11 月	1 回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習を積極的に受け入れた。



作業の様子



スポーツ交流

2 就労継続支援B型事業(定員：20名)

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

1 利用者の状況(平成31年度末利用契約人員：17人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
70歳	37歳	51.0歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
16.5年	17.5年	16.7年

(3) 療育手帳調べ(単位：人)

区分 性別	A	B	計
男	6	8	14
女	0	3	3
計	6	11	17

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	無	1	2	3	4	5	6	計
人数	8人	0人	0人	3人	5人	1人	0人	17人

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	2人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
270日	3,673人

2 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工

事業所名	内 容
ボカシ作業	ボカシ製造、袋詰
ニッケー工業	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み

(2) 収入状況

年度別	平成 31 年度	平成 30 年度	増減
収入金額	4,687,732 円	4,568,549 円	119,183 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
37,060 円	10,185 円	21,740 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
レク活動 (ボウリング・カラオケ等)	随時	23 回
園芸市出店	4 月・10 月	3 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	5 月	1 回
バスハイク(まかいの牧場)	8 月	1 回
一泊旅行(山梨方面)	10 月	1 回
オレンジマラソン大会	11 月	1 回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習を積極的に受け入れた。



作業の様子



一泊旅行

6 静岡市清水うなばら学園（生活介護事業所・定員：60名）[平成3年4月開設]

利用者が望む生活の実現を支援するための個別支援計画を作成し、それぞれの特性や能力を活かして、健全な社会生活を営むことが出来るよう、生活、学習、作業支援等を実施した。生産活動については、木工、手芸の自主製品の他、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には4台のバス(静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うしおワーク利用者と同乗)で送迎を行った。

なお、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延334人を受入れ、個別支援計画に基づいた支援の対応を行う等、概ね計画どおり進めることができた。

1 利用者の状況(平成31年度末利用契約人員：54人)**(1) 年齢調べ**

最年長	最年少	平均
51歳	19歳	35.2歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
15.0年	20.4年	16.1年

(3) 療育手帳調べ(単位：人)

区分 性別	A	B	計
男	40	3	43
女	11	0	11
計	51	3	54

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0人	0人	0人	6人	24人	24人	54人	5.3

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	3人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
267日	11,848人

2 生産活動

(1) 内容

内 容	事業所名等	内 容
請負作業	安藤紙業(株)	CDソフト等の分解・分別
	リサイクル	アルミ缶つぶし・卵の殻肥料づくり
自主作業	手芸	刺し子・袋物等
	木工	花台・キーホルダー・プランターアクセサリ等の切り出し

(2) 収入状況

年度別	平成 31 年度	平成 30 年度	増減
収入金額	408,965 円	596,414 円	△160,449 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最高	最低	平均
880 円	20 円	476 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
個別活動 (クルージング・プール・ボウリング等)	随時	21 回
班活動(外食・工場見学・ハイキング等)	随時	30 回
クラブ活動(スポーツ・音楽)	随時	39 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	5 月	1 回
宿泊活動(2 班、3 班)	9 月	1 回
宿泊活動(1 班、4 班)	10 月	1 回
全体班活動(焼きも体験)	10 月	1 回
音楽発表会	11 月	1 回
クリスマス外食(サンマルク焼津)	12 月	2 回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習を積極的に受け入れた。



スポフェス



宿泊活動

7 静岡市清水なぎさホーム(生活介護事業所・定員 20 名)[平成 8 年 4 月開設]

在宅の重度障害者を対象に、日常生活訓練を主体とした支援を行い、身辺自立機能の維持や社会参加及び家庭介護の軽減を図った。「ライフサポート(日帰りショート)の充実」では、1回の受け入れ人数を5人とし、全7回実施。「音楽療法の充実」では、毎月1回、年12回実施。

また、「他事業所との連携」については、サポートセンターそら(生活介護事業所)との合同運動会の実施等積極的に取り組み、概ね計画どおり事業を進めることができた。

1 利用者の状況(平成 31 年度末利用契約人員：16 人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
51 歳	19 歳	34.8 歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
14.4 年	6.8 年	9.6 年

(3) 身体障害者手帳調べ(※利用者全員療育手帳(A)を所持。)

等級	人数
1 級	11 人
2 級	2 人
無	3 人
合計	16 人

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	15 人	16 人	5.9

(5) 入退所状況

入所	退所
3 人	2 人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
264 日	3,360 人

2 主要行事等

行事名	実施月	回数
外出活動(七夕まつり・日本平夢テラス等)	随時	10 回

行事名	実施月	回数
誕生会、クッキング	随時	9回
季節行事 夏祭り、合同運動会、節分、ひなまつり	随時	4回
音楽療法	毎月	12回
リハビリ指導	随時	4回
スポーツ体験(県障害者スポーツ協会指導)	11月	1回
ライフサポート事業	随時	7回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学・専門学校生の実習を積極的に受け入れた。

3 送迎サービス

送迎を希望する利用者(17人)に対して、毎日、個別送迎を実施した。



音楽療法



合同運動会



外出活動

8 障害者相談支援センターわだつみ(相談支援事業) [平成24年11月開設]

1 特定相談支援・障害児相談支援

静岡市の指定を受けて、利用者が、そのライフステージに応じた自立した日常生活、又は社会生活が営むことができるよう、利用者やその家族からの相談に応じ、サービス等利用計画の作成及びモニタリングを行い、地域の障害児(者)とその家族の福祉の向上に努めた。

1 相談の状況

区分	サービス等 利用計画	モニタリング	本書 モニタリング
特定相談	165件	413件	19件
障害児相談	60件	116件	29件
合計	225件	529件	48件

2 障害者等相談支援 平成 13 年 10 月事業受託・清水区を担当

静岡市から委託を受け、静岡市障害者等相談支援事業実施要綱に基づき、相談支援事業、障害児等療育支援事業、障害者虐待防止センター事業の各業務を実施し、障害児者等とその家族の福祉の向上を図った。

1 相談支援事業

(1) 相談支援実績

区 分		実 績
開設日数		240 日
相談支援	実人数	685 人
	延件数	3,133 件
個別支援計画	作成件数	0 件
	作成支援件数	0 件
個別支援会議	開催回数	17 回
	参加回数	35 回
自立支援協議会 開催・参加状況	事務局会議	10 回開催
	区連絡調整会議	2 回開催
	全体会議	2 回参加
	市自立支援会議	2 回参加

(2) 支援方法内訳(単位：件)

区分	訪問	来所 相談	同行	電話 メール	個別支 援会議	関係 機関	その他	計
身体障害	9	4	1	23	0	27	0	64
知的障害	275	114	159	1,107	52	1,341	0	3,048
精神障害	1	0	0	10	0	10	0	21
計	285	118	160	1,140	52	1,378	0	3,133

(3) 相談延件数の支援内容別内訳 (単位：件)

内 容	件数	内 容	件数
福祉サービスの利用等	1,274	生活技術	180
障害や病状	78	就労	93
健康・医療	292	社会参加・余暇活動	39
不安の解消等	465	権利擁護	67
保育・教育	119	障害者虐待	1
家族関係・人間関係	313	その他	5
家計・経済	207		
		合 計	3,133

2 障害児等療育支援事業

内 容	回数	参加人数
訪問による療育指導	4回	61人
外来による専門的な療育相談、指導	3回	14人
療育技術の指導	6回	27人
療育機関に対する支援	1回	45人
合 計	14回	147人



講演会



料理教室



スポーツ体験